

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	教育	-	27	市史編纂事業				☐ 法定受託事務
所管課	中央図書館				評価者	中央図書館長 津田 さほ		
一般	会計	款	10	項	5	目	10	
総合計画上の位置付け	分野名	生涯学習			施策の方針名	生涯学習環境の整備・充実		

1 事業の目的

対象	市民等	意図	市史の編纂及び公開をするため。
効果	歴史的資料の活用を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☒ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 令和21 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	編さんに向けた庁内体制の整備、準備委員会発足	編さんに向けた庁内体制の整備、準備委員会運営、庁内委員会のあり方の検討等	庁内委員会開催、市史編さん委員会開催、編さん方法の確定等
予算額（千円）	70	196	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	70	196	0
当初人員配置数	2.5	2.9	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	研修参加、他自治体調査、準備委員会を実施		
決算額（千円）	19		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	19	0	0
人員配置実績数	2.5	0.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名	市史編さん準備委員会の開催回数	回	1	7	1		
	実績につながる活動	他自治体における類似事例の調査、研修参加、庁内調整				0		
活2	指標名	図書館での歴史的公文書二次選別作業数（紙文書）	箱	128	⇒	129		
	実績につながる活動	図書館で行った歴史的公文書の二次選別作業				0		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	年度により、保管・選別する行政文書全体の量が異なるため、実績数で一定の方向性を示すのは困難である。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	文書所管課による歴史的公文書の選別基準適合率	%	71	100	96			

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	電子文書の導入で、電子と紙の文書が混在し、選別やカウントが困難になっている。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	歴史的公文書の選別基準適合率が96%と上昇したことから、全庁の職員の歴史的公文書選別に対する認識が定着してきている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	市史編さんの意義、図書館での歴史的公文書二次選別基準の案内強化等を庁内に共有することで、各担当課職員の意識が高まりつつあり、文書所管課による歴史的公文書の選別基準適合率が上昇した。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者 □ なし
	有効性	事業の成果	□ 十分に出ている	■ 概ね出ている	□ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
		関連・類似事業との統合	□ できる	■ できない	
	公平性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない
方向性	評価実施年度の方向性 ⇒		評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	□ ① 事業内容は現状通りとする		
		□ 事業内容は見直し済	⇒ ■ ② 事業内容は見直す	→ ■ 拡大	□ 縮小 □ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	⇒ □ ③ 事業は休止又は廃止する		
		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合
方向性	予算規模の方向性	□ 予算規模は現状維持	□ ㊦ 予算規模は現状維持とする		
		■ 予算規模は拡大済	⇒ ■ ㊧ 予算規模は拡大する		
		□ 予算規模を縮小済	□ ㊨ 予算規模は縮小する		

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	未解決		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評	引き続き、令和21年度（2039年度）の市史刊行に向けた事業を推進していく。			上位施策への寄与度
				C

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	市史編さんの担当課								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	中央図書館	文書館	文化推進課	博物館	中央図書館	中央図書館	政策課及び総務課	社会教育課	文化スポーツ課

比較事項	直近の市史刊行実績（上段）及び今後の予定（下段）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	平成6年	令和3年	平成29年	令和7年	平成15年	平成27年	令和7年	平成7年	昭和59年
	令和21年	令和13年	令和9年	-	-	-	-	-	-

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内近隣自治体における市史刊行状況・市史編さん取組状況を把握し、当市の今後の事業展開に生かしていく。
----------------------	--